

みどりの風

加茂市立石川小学校
学校だより 通算318号
(令和2年度 第20号)
令和3年3月8日

(URL) <http://www.ginzado.ne.jp/~k-iskwj/> (E-mail) k-iskwj@educet.plala.or.jp

校長 山本 哲 哉



令和3年度のスタートを迎えて（提案など）

2020年度から新しい学習指導要領が完全実施されています。タブレットも導入されました。新型コロナウイルス対応により、教育活動も見直されてきました。学校アンケートで保護者・職員の意見を集約し、今年度の実践を振り返り、評価・反省等を行いました。次年度は以下のような変更を加えながら教育活動を進めます。

(1) ICT機器を活用した授業づくり

他校と学び合い情報を共有しながら、タブレットや電子黒板を使った授業を計画的に実施します。

(2) 学校行事は基本的に一昨年度の形に戻して実施

運動会は5月に戻して実施する予定ですが、熱中症防止や児童の負担軽減をねらい、今年度と同じように午前中での開催を考えています。実施会場の問題もあり「市の音楽発表会」は行われませんが、校内音楽発表会は実施予定です。タイムチャレンジマラソンも復活の予定です。

(3) 統合に向けた交流活動

令和4年度からの統合に向け、令和3年度中から6年生を除く加茂西小の在校生と交流します。例えば、5年生が体験する活動に加わるかもしれません。他の学年も一緒に授業をしたり遊んだり…、そういった活動が6年生以外の学年で増えてきます。

(4) その他（新年度に入ったら正式にお伝えします）

- ① 毎日個別の登校とします。帰りは、学年（または低・中・高学年ごと）の同じ方面（スクールバスも）ごとに帰ります。緊急な場合（災害時も）は、家族による「引き渡し」を行います。
- ② 2・3学期の始業式の日給食を行う予定です（引き続き1・2学期の終業式の日も給食を実施）。
- ③ 特別支援学級が新設されます。計2学級となります。学級名は「さくら学級」とする予定です。
- ④ 毎週末に担任が「週案」を出します。学年だよりも発行します。学校全体に関することや子どもの活躍等については、配信メールや学校HP（ブログ）・学校だよりを活用します。

野球で「頭」を使うこと、とは…

私は小学6年生まで少年野球をしていました。その時の私は、最初は自分の運動能力や野球の技術を向上させることだけを考えていました。でも、練習をしているうちに、例えば自分がノーアウトでのランナーで、打球がどこに飛んだら、自分がどう動くか瞬時に考え判断しなくてはならないといったことが増えてきました。監督から出されたサインを行動に移すことも求められます。守備でも、外野の間にボールが飛んできたとき、誰がとった方がいいか声を掛け合い、ボールを取った選手がどこに投げる（内野はどんな中継プレーをするか）かも求められます。

私のチームの監督さんは、ある時私たちにこう言いました。「野球も最後はね、『頭』なんだよ」。その「頭」（が良い）というのは、計算や漢字といった「再生する力」ではありません。「なぜそれが良いかを考える」「解く方法を見いだす」「とっさに判断し、それに応じて行動する」「さらに良い方法はないかを考える」「次（先）のことを想像・創造する」ことなどです。これらはドリル・スキル学習だけでは身に付かないことです。だからどの教科でも、覚えること、理解すること、考えること、判断すること、書くこと、話し合うことなど、バランス良くやるのです。特に、これからは、学んだことを活用する力、解決の方策を探る力、仲間と協働していく力などが一層求められます。学校は、大人になった時（社会の中で生きていく時）に必要な大事な力を身に付けていく場です。

「生きているとは学び続けることだ」と言った人がいますが、「自分の考えや意見を持ち、どうやったら良いかを考え、人に説明し、合意したことを協働で実行に移す力」をどうやったら伸ばしていけるか、また、「学ぼうとする子」をどうやって育てるかなど、学校でも精一杯考え、実践につなげてまいります。



